

はづ

No.24

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

平成4年10月30日



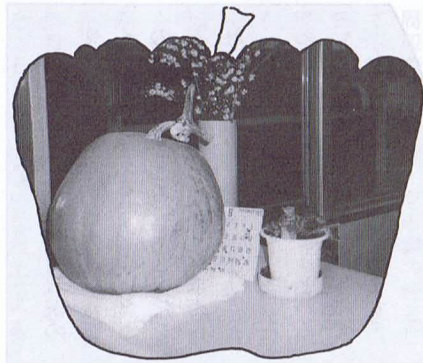
小学生のころの遠足の思い出、垂坂山。

いま、公園化計画が進んでいますが、その一部が完成しました。

鮮やかな緑に映える芝生広場、自然林に囲まれた公園には、家族連れの散策や、ウォーキングで汗を流す人たちが増えていきます。

『東に霞緑地公園、西に垂坂公園』

一度、散歩に出かけてみませんか！

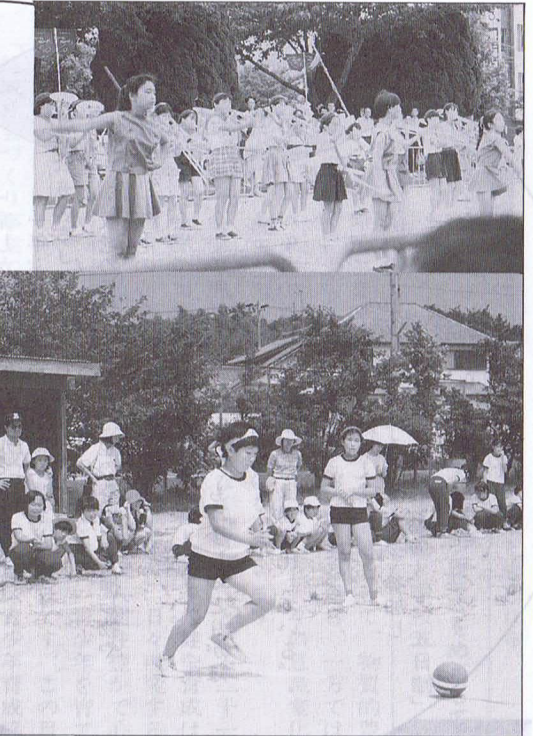


大きなかぼちゃ?

つやのある、だいたい色の大きなかぼちゃのウエストは?なんと103cm。羽津地区市民センターの窓口に飾られています。当職員が育てたものです。一度観に来て下さい。

盛り上った球技大会

暑かった今年の夏、炎天下の中親も子も共になつて練習したフットボール、ソフトボール、ソ



フトボール。試合当日は晴天に恵まれ、チアガールの応援もあり盛り上がった球技大会でした。四日市大会では練習のかいあって、羽津地区代表の別名三丁目チームが、男女共ベア優勝をほたしました。

話題

体力づくり市民大会

十月十日、秋晴れのさわやかな一日、体力づくり市民大会が中央緑地公園で開催され、羽津地区から百八十人が参加、各種目に健闘しました。



おもしろい夏休み、ちよびり子供達の心に残る夏休みになるように、楽しい計画をたてました。◎ひらべったい小石に好きな絵を描いて、かわいたらニスをぬって出来あがり。世界でたったひとつの「ぶんちゃん」書類が吹きとばないように、「おもしろ」ともかわいいうちの星がはつきり、手が届きそうな距離に観えました。あんなに遠くにきらきら輝いている星なのに、胸がどきどきときめきました。◎好評のうちに、子供料理教室、映画会と夏休みが過ぎていきました。

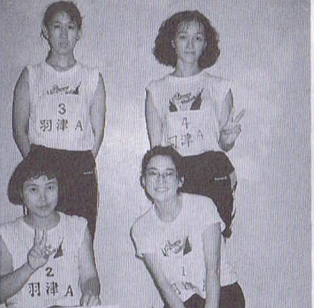


体育振興会の活動紹介

「暮らしの中にスポーツ」を合言葉に、「毎週木曜日、午後七時から九時まで、羽津中体育館で、室内スポーツを楽しんでいます。去る九月六日、羽津地区のレク



女子インディアカ優勝!



三重県インディアカ大会
平成四年九月十三日
於 鈴鹿

リエーション大会として、インディアカ大会を開催しましたところ、多数の参加をいただきました。また、ソフトボール、ママさんバレー、バドミントンなど、多方面に活発な活動をしています。地区に住む人びとの交流の場を拡げて、明るい地域社会づくりに皆さんの参加をお待ちしています。

全国老人クラブ 社会奉仕の日

九月二十日羽津地区老人クラブの皆さんが地域の道路や公園の清掃奉仕に汗を流しました。



防災訓練 8月30日



羽津北小学校 十周年記念式

6月4日(木)羽津北小学校創立10周年記念式典が行われました。式典後、記念音楽祭が催され、楽器演奏や歌声に来賓の方々や児童達が楽しいひとときを過ごしました。



親と教師の語る会

9月5日(土)羽津中、羽津小、羽津北小、三校合同で「親と教師の語る会」が開催され、愛知県電話相談室カウンセラーの河村江理子先生をお招きし、豊かな未来を子供たちと「のテーマで講演会が行われました。先生の豊富な経験談を交えた子育ての話にうなずくお父さん、お母さん、先生方の姿が見られました。

私たちがとりまく社会状況の変化が... 羽津地区においても、「こころのつながり」を深めようという活動を行っており、本紙でも写真紹介をしております。

地区行事 主役はあなた

敬老会 世話役の声

敬老会 世話役の声... 本日に敬老を祝うという地域の人の意識の高まりがあるのでしょうか。

盆踊りについて

盆踊りについて... 羽津には「四日市盆唄」という伝統の曲があったのに、最近聞いたことがない。

敬老会について お年寄りの声

敬老会について お年寄りの声... 世話役の方には大変感謝してあります。ありがたい！



盆踊りについて... 盆は帰省や来客やら用件が多く参加しにくい。

盆踊りについて... 現状を憂える意見、組織論など種々の意見が寄せられました。



青年団、婦人会ともに羽津全町に組織のないのが現状であり、組織の活性化を含め、行事のあり方を再検討する必要があります。

「住みよい羽津の明日をめざして」をテーマに、平成四年度地区交流懇談会が開催されました。

(1) クリーン羽津をめざして

「地域社会づくり事業の概要」地球規模での環境破壊が論じられる中、羽津地区においても環境問題、とりわけ家庭のごみ処理問題を中心に「クリーンはづ」をめざして、自治会をはじめ、各団体に呼びかけてその意識高揚を図った。

七月八日 地区交流懇談会開催

「住みよい羽津の明日をめざして」 於 羽津地区市民センター

方説明会の開催 ②標語・ポスター・体験文の募集 ③「ごみ置場周辺の美化整備」を事業の柱として活動を行った。標語募集には四三五名、二〇〇点の応募があり、優秀作を選定。文化祭、地区広報などで地域住民に発表し、啓発に役立った。またごみ置場の表示看板を整備したり、啓発ステッカーを全戸配付し、ごみ問題に対する関心と呼びおこすことに努力をした。しかし、心ない一部の人の行為で、分別収集が守られないところもあり、継続した地道な啓

発活動が必要と思われる。

(2) 青少年の健全育成をめざして 「青少年協活動と学校五日制」

経済大国日本として、物質的豊かさをおう歌する今日、一方では物から心へという人々の意識変化も顕著になっています。まもなく迎えるようとする二十一世紀を背負う青少年の健全育成は社会的課題であり、日々激変する社会状況の中で、人間性豊かで心身ともにたくましい青少年を育てることは大人の責任です。この目的達成のため、地区青少年育成協議会も結成以来三十年、「地域で育てる青少年」をめざして努力をし

悩んでいるところであり、情報の提供をお願いしたい。

(3) 住みよいくらしを願って 「テレビ受信難視聴の 解消をめざして」

高度情報化社会が進行する中、テレビは私たちにとって重要な生活情報源として欠かせないものとなっています。

テレビの受信障害は、本来原因者と視聴者との当事者間の問題ですが、個人の力では限界があります。複数のビルが建つなどして因果関係が複雑となり、原因者の特定ができないケースがふえています。昭和六十三年には、連合自治会の議題となり

訪問インタビュー ミス四日市 森美也子さん

「今年の夏、オーストラリアで初めてスキューバダイビングに挑戦し、日焼けしました。」と、すこしはにかみながら私達のインタビューに答えていただきました。

「両親、特に最初に応募に反対だった父親だと思えます。」ミス四日市の仕事は「一日警察署長や一日救急消防隊長といった公的行事に四日市の顔として参加するほか、中日新聞及び写真協会の主催する撮影会にモデルとして参加します。」



これからの主な行事は、一日郵便局長や一日消防署長、豊橋まつりにも参加とお忙しい様子。お会いして、健康的で、さわやかなキューートなお嬢さんでした。来年7月までの大役を、無事に果たされることを心よりお祈り致します。

羽津スポーツ少年団

羽津スポーツ少年団は、現在二六四名が七つの団の中で頑張っています。その活躍ぶりをご紹介します。

羽津野球少年団

部員は十八名、昭石のグラウンドで毎日汗を流しています。今年で二十周年を迎え、記念大会を終えたばかりです。二十周年監督をしてこられた榎野さんにお話を伺いました。



羽津野球部20周年記念大会

三位になったこと。今後は、渡辺コーチと協力して、基礎をきちんと身につけさせ、どこへ出しても通用する子供に育てたい。

羽津北野球少年団

- 一月 駅伝大会
- 三月 春季大会 (ベスト十六)
- 五月 大運動会
- 夏季大会 (ベスト八)
- 東海大会 (三位)
- 八月 合宿 一日目はプール遊び、花火大会、肝だめし 二日目は試合
- 九月 秋季大会
- 十月 新人大会

バレー少年団

- 六月 ライオンズカップ地区予選 入部したばかりの小さな三年生まで出場します。
- 九月 北勢大会
- 十月 うすい杯争奪戦
- 十一月 県大会地区予選
- 一月 大阪高槻へ遠征
- 三月 近府県招待四日市交歓会 毎年、二チーム前後を招待し、二日間に渡って試合をします。試合前には手紙の交換をして交流をはかります。

羽津サッカー少年団

- 五月 春季リーグ戦
- 親子サッカー大会
- 低学年対母親チーム
- 高学年対父親チーム
- 八月 サッカーフェスティバル 県内十チームを招待
- 十月 秋季リーグ戦
- 十一月 新人戦
- 二月 羽津記念大会



ジュニア サッカー少年団

小学生から引き続きスポーツ少年団として活動しています。七月の中体連県予選大会では、ベスト八に入りました。四日市中央工業高校サッカー部や名古屋グランドパスエイトジュニアとの練習試合も行います。

剣道少年団

「礼に始まり礼に終わる」と言われる剣道ですが、羽津小学校の体育館で冬でも素足で練習しています。年間八回の大会があります。団体戦が多く男女の別なく五人一チームで出場します。毎年三月には他県の団を招待して親善大会が盛大に行われます。

羽津サッカー少年団

羽津小学校六年位田 誠和

ぼくは、サッカーを始めてもう三年になります。初めは「フアイターゼッゼッゼ」と言うのがはかしくて、うまく言えませんでした。

水泳少年団

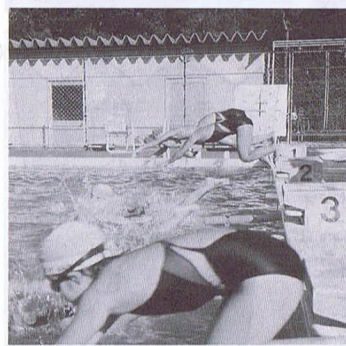
羽津野球少年団と同じく、こちらも二十年の歴史があります。ドイツとの交換留学生として、当団から三名が留学しました。現在の練習状況ですが、六月、九月、羽津地区の小学校二校と中学校のプールで十月、四月、市営温水プールで週三、四回行います。

この三年間をふり返って思い出すことは、雪の中で、手や足の感覚がなくなると、早くグラウンドからおりたいよーと思ったこと、雨の中重たいボールをかけたこと、合宿にいて、夜にみんなといっしょに遊んだことなど、たくさん思い出せます。

羽津スポーツ少年団の発展を願って

スポーツ少年団として、地区運動会に参加、体力測定やドッチボール大会、そのあとにアツアツの豚汁などの行事を取り入れ、親睦をはかっています。

各団とも十年以上の歴史をもち、数多くの卒団生を出しています。元野球部の藤尾君や水泳部の山本君のように、高校生の間、先輩の指導に通ってくれる人もいて、大変嬉しいことです。今後、卒団していった人達がコーチとして戻ってきてくれれば、羽津スポーツ少年団もますます発展していくことでしょう。



私の昭和 戦火の中に生きて

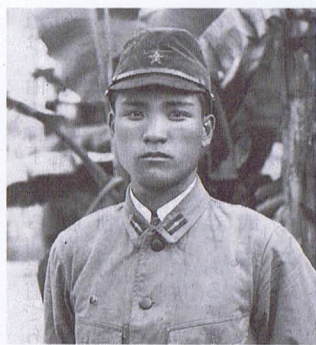
白須賀町 天野 平一

光陰矢の如し。この世に生きて生を受けて七十七年有余の歳月も、鈴鹿の峰から流れる雲に乗せられ、遠い大洋の彼方へ消え去りました。

昭和四年三月、小学校を卒業しましたが、当時は「昭和初期の大不況」、働くに職なく仕事をさがすのに苦労の時代でした。日雇いの仕事も、日の出を迎えての出勤が常でした。その後、市内の株式取扱店に入り、店の清掃や銀行への使い走りや、高額の金の扱いにも事故なく過ごし、当時の主人や先輩方の厚意が忘れられません。

昭和十年十二月、現役兵として満州へ。荒蕩千里、零下何十度の原野での猛訓練の連続……。古兵による気合い、ビンタなどの苦難も祖国の防人として、初年兵は当然と受けとめ自己の最善を尽くしました。

翌年二月二十六日、深雪の帝都を血で染めた「二、二六事件」が発生し、直ちに旧満州北西部の満州里の国境に派兵されました。この寒さは一段ときつく、河川も道路と化すその凍結の厳しき。シベリア嵐の強風で小石が飛び散るなか、遠くに野犬の叫び声を聞きながらの立哨に、よくもこの重責



を果たした得たものと思います。昭和十二年八月、東亜の風雲急を告げ、北支の戦線から中支の上海、南京へと転戦し、この間左胸部端貫通の傷を負いましたが、一ヶ月で原隊復帰、再び北支除州作戦に。更に進んで大別山の堅陣を越えて漢口に入城。久々に戦塵を払って昭和十四年八月に内地に帰還し、東芝に入社しました。翌十五年七月、再度の召集を受け、南支広東付近に駐屯しましたが、昭和十六年十二月、大東亜戦争に突入と同時に行動開始。香港島上陸作戦で身体各部に被弾。歩行不能となり、担送患者として東京陸軍病院にて長期療養の後、帰郷しました。昭和二十年四月、三度目の召集岐阜連隊にて終戦を迎えました。顧みるに、昭和十年以来終戦まで、どの年次も軍衣をまとい、大

陸戦野に三度戦いに明け暮れて、百雷ひびく戦場で「生か死かの分岐点」に立つこと十年。二度の被弾で重傷を受け、心身共に完全燃焼したように思われてなりません。戦後、東芝三重工場に復職し、紆余曲折を経て、昭和五十年十月退職しました。その後、羽津地区社会教育推進員を委嘱され、社会福祉のため老体に鞭打って努力しましたが、先般辞任いたしました。その間、皆さんから格別のご懇意に預かり深謝申し上げます。

ちょっといい話 サルビアの会

和気あいあいと話が弾み、気の合った仲間同志ノとも気持ちのいい雰囲気グループ「サルビアの会」大宮町婦人部の皆さんをご紹介します。

この会を作られた目的は、地域の人々との交流を計り、会員相互の親睦をより一層深めるため。会員数は、十二名です。昭和六十三年より現在の行事を教えてください。

俳句

〈志氏ヶ野句会より〉

奥山ふみ子 煙の人汗拭く時は遠目せり
神田 妃呂美 蜻蛉とまりふいに話がとぎれたり
紀平 とく子 時計草翁昼飼の魚を焼く

- 一、ごきぶり団子作り 毎年四月に、大宮町世帯で注文をとり、本年度は約六千五百個作り、各家庭にごきぶりの発生が少なくなつたと喜ばれています。
- 二、草取り 年二回、春と秋、志氏神社境内の草取り奉仕をしています。
- 三、菓子作り 六月に、手作りのお菓子を大宮町敬老会々員の皆さんにお届けしています。その時はとても喜んでいただけ、話もはずみます。
- 四、不用品バザー 十一月、家庭に埋もれている品物(不用品)を持ちより、市価の半値ぐらいで販売する。その時販売する石鹸も廃油で手作りしています。売値の割を会に寄附していただいて、会の活動費にあてています。

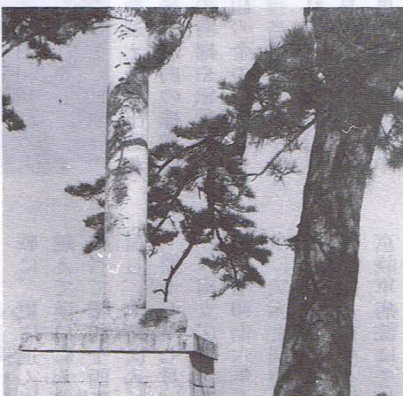


盆提灯ともせば桔梗の絵の句ふ
水谷 安代 いきいきとかめに沈めて新豆腐
片岡 とき代 目にとめて小菊の真黄際もなし
館 二三子 扉を開けて雑木黄葉の小寺かな
宮田 健蔵 石橋の落葉を踏みて拝観す
久志本 幹子 立待や雲厚つけは肩の冷ゆ
川本 ふみ ねぎ干して植へ替へにき暑さかな
大森 みつゑ



羽津郷土史と民俗研究会 森 元三

江戸時代からの東海道を、そのまま現在の国道一号线に重ねたところは三ツ谷町と金場町だけである。両町の境界を二重川が流れているが、往時の境橋は舗装の下になつて今は全く想像もできない。



東側にあつた金場の地藏堂は、北の方の現在地に移り、当時のにぎやかさをしのぶべくもない。

明治四十五年四月、大正天皇が皇太子の時、参謀演習のため行啓され、このところで鹵簿から降り、先き引き、後押しの人力車で台の山へ登はんに向かわれた。この堤防道を二重堤と言つて、羽津山病院に行き通う人力車がひっきりなしに走つていた。

山ヶ下にかかる所に、道下深く阿倉川の湯出から引いた羽津南用水の樋管が埋まっています、つい最近まで礼酒を阿倉川村に贈っていた。

山手通りの北側に今もある細い

道は、旧の會下に入る病院道である。当時、県下でも屈指の羽津山の医者は、名医の評判を得、また家伝の虫封じ薬で知られ、多くの患者でにぎわつた。近くには、羽津城主赤堀家の菩提寺である正法寺があり、廃業した武士が医家や神楽師となつて生業としていた。阿倉川地内にかけてその子孫らしい家系が多い。

明治三十四年頃には、お寺と病院の外には八軒の住家だけであつた。現在では、三百六十戸の羽津山町になり、東西の道路は羽津一番の広い道路となり、商店舗が立ち並んでいる。

この道路は、徳川時代中期、羽津／阿倉川の境界を争つた線であつた。現在、バス路線が垂坂から歴史の台の山の裾を通り、市立病院へと走つて満員の客を運んでいる。台の山は、古くは大海人皇子や聖武天皇の行幸、南北朝の頃の合戦、大正天皇の行啓など歴史を語る場所である。

ここに登るとコンピナートの工場群から伊勢湾が見おろされ、現在公園化がすすめられている。

鹵簿……儀仗を具えた行事・行啓の行列のこと

短歌



へ羽津野短歌会より

あをこもる吉野の山の昼更けに幽けくもとほる筒鳥の声
小林 英

中学生の孫と地球儀まはしつ、新しき独立国リトニアを知る
青木 照子

池の面に浮かぶ睡蓮の花影に小さき金魚見えかくれせり
前田 素女子

寝ねかての熱き一夜の暁に声張りてなくつくつく法師
村田 千代



秋も深まり、茶の湯けむりが恋しい頃となりました。あちら、こちらに茶会が催される風景が……抹茶は「緑茶」の中でも特に慈しんで、育まれた葉茶をそのまま粉末にして頂くため、健康食品として注目されています。

また、煎茶は日々の生活に潤いを与え、楽しみながら健康につながっています。年齢、男女に関係なく、ひとり

特攻隊のマバラカットの基地跡に丈高く生ひてそよぐ穂すすき
坂倉 俊枝

函館山に登り来たりて七色の輝く夜景みとれて立てり
伊藤 品子

「水族館」「宇宙遊泳」「花と蝶」轟く花火は月をも焦がす
加藤 光子

はらはらとこぼるるがあらはせ初めしごま刈り終へる一輪車に積む
杉本 光子

災害に備ふる今日の訓練の役立つ日あらん土囊を運ぶ
平子 季昭

でも多く、お誘いあわせの上、ご参加下さい。お待ち致しております。
茶道(裏千家)
第二、第四月曜日、午前十時月千五百円(抹茶、菓子消耗品含)煎茶
第一、第三月曜日、午後一時月千円。



炊事場の窓より見ゆる百日紅ままたごとをせし頃思ひ出づ
早川 澄枝

たふたふと連れ合いつつ白き蝶姫女苑咲く小川越えゆく
鈴木 落子

昨年まで萩の咲きたる此の野道今年は見えず風ばかりなり
辻田 玲子

垣椿真赤な花も愛らしく今實を附けて敷居油に
佐藤 美岳子

四様の寝息聞こゆる病室の外にはけりの高き鳴き声
広瀬 敦子

編集後記

天高く馬肥ゆる秋。皆様、如何お過ごしでしょうか。地区広報二十四号をお届けします。地区行事に関し、無作為に選んだ一部の方にアンケートをお願いしました。ご意見の主旨は今後の企画、運営に活かしていきたいと思ひます。編集委員一部交代で、新メンバーによる初仕事です。ご感想など市民センターまでお寄せ下さい。

編集委員

- 山本 鉄男・田中 逸夫
- 内田 節子・井上キヨ子
- 伊藤 米吉・藤井 裕通
- 菊池 栄子・山田 幸子
- 天春さつ子・森 昌代
- 羽津地区市民センター